

# Olive News

オリーブ 便り

基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

## ドクターヘリ稼働

香川大学医学部附属病院 救急医療支援センター  
センター長 黒田 泰弘

この度、香川県ドクターヘリが4月18日8時30分から当院担当で運航開始致しました。

香川県は本院と香川県立中央病院が基地病院となり、1週間交代で消防機関からの要請によって現場出勤や施設間搬送を行います。

運航日は朝8時からのフライトドクター、フライトナース、操縦士、整備士、CS(communication specialist)、救急統括医によるブリーフィングで始まります。ブリーフィングでは、当日の天候や待機終了時刻、通信機器の調子等の情報を共有します。

ドクターヘリの活動におけるキーワードに、この「情報の共有」があります。ヘリに搭乗するスタッフが注目されがちですが、それを支えるスタッフもこの「情報の共有」に非常に重要な役割を担っています。例えばCSは運行管理室に待機し、ドクヘリ要請を受けてヘリの離陸・着陸時刻や着陸地点を操縦士、整備士、消防機関等と共有する連絡調整のプロフェッショナルです。救急統括医は、現場救急隊やフライトドクターからの情報を共有し、それに基づいて救命救



急センターのスタッフとともに部屋(救急初療室、血管撮影室、手術室など)、医療機器、人員等を速やかに適切に準備してくれます。事務職の方々も、離着陸に伴う安全確保などを行ったり、行政をはじめ他機関との調整を行ってくださったり、運航にかかる様々な情報を共有し、ドクターヘリのスムーズな運航を陰で支えてくれています。このように、ドクターヘリの存在意義は、搭乗するスタッフとそれを支えるスタッフ間での「情報の共有」のもとに成り立っているのです。

香川県ドクターヘリは県全体を俯瞰し、傷病者の命を救うだけでなく、傷病者が元の生活に戻れることを目的とし、オール香川で全県民のために取り組む事業です。そのためには、関係者だけでなく、香川県の医療に携わる全ての方々との連携が必要不可欠です。何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

## 放射線治療棟(第一期)竣工と新機種稼働による高精度放射線治療の推進

香川大学医学部附属病院 放射線治療科 診療科長 柴田 徹

この度、新放射線治療棟(第一期)が完成、令和4年5月より運用開始となります。放射線治療部門では医師・診療放射線技師・看護師・事務職員によるチーム医療を掲げ、平成26年より強度変調放射線治療(IMRT)を導入し、安全で質



の高い治療に取り組んできました。現在の建屋(旧棟)は香川医大開院から実に40年近い使用に耐えました。当院のリニアック2台の内、旧式装置(平成20年導入)は画像誘導放射線治療(IGRT)やIMRTに非対応で、高品質の治療を望む皆様の期待に十分応えられず、診療報酬上も利益逸失を招いており、速やかな更新が急務でありました。コロナ禍の中、歴代病院長を始め首脳陣のご理解を得て、実現に至りましたこと喜びに堪えません。

新機種稼働により、現代の標準的な治療技術の全てに対応可能となります。特に、①転移性脳腫瘍に対する定位照射(ピンポイント照射)、②肺腫瘍の呼吸同期照射、③深吸気停止下IGRTによる乳房温存療法の高速度化、④前立腺IGRT/IMRTの寡分割化などを推進します。詳しくは当院スタッフまでお尋ね下さい。当面は新棟と旧棟の併用となり、ご不便をおかけいたしますが、引き続き第二期計画の早期実現に向けて努力を続ける所存です。

## 高度な技術で心と身体に優しい外科医療を

香川大学医学部附属病院 呼吸器外科 診療科長 矢島 俊樹



令和4年4月1日付けで呼吸器外科の診療科長を拝命致しました矢島俊樹と申します。これまで群馬大学において呼吸器外科の臨床・研究・教育に取り組んで参りましたが、今後は香川大学呼吸器外科の更なる発展のため尽力したいと考えております。

私が診療において大切にしていることは、患者さん一人一人の心に寄り添いながら可能な限り

身体に優しい外科医療を実践していくことです。これまで肺癌の標準術式は「肺葉切除」でしたが、その患者さんは一般的にご高齢で、喫煙により低肺機能の方も多く、その手術は身体に負担の少ない方法が望まれます。令和3年に報告された臨床試験の結果、小型肺癌では呼吸機能温存が可能な「肺区域切除」が適応となることが想定されます。しかしながら、この手術は技術的難易度が高いことが課題であり、そのため多くの施設では比較的操作が単純な区域に限定し行われています。

私はこれまで幾多の創意工夫を重ね、全国的にも類をみない「全ての区域に対する胸腔鏡下肺区域切除」を標準化できる方法として確立してきました。これにより、病変の部位によらず呼吸機能温存が可能となり、さらにこれまで手術困難であった多発肺癌や低肺機能の患者さんに対してもQOLを保ちながら根治手術を行うことができます。今後、香川大学からこの究極の低侵襲手術を世界に向け発信していきたいと考えております。

## 患者さんの笑顔を大切にした看護の提供を目指して

香川大学医学部附属病院 看護部長 阿部 慈

令和4年4月より、医療の質管理担当副院長および看護部長を拝命致しました。医療を取り巻く環境は大きく変化していますが、すべての職員が協働・連携し、良質な医療を提供していくことが大学病院に求められる使命だと思えます。

看護部は、看護職員726名と看護補助者64名から構成され、病院の中で一番大きな部門です。私たちは看護専門職として日々研鑽を続け、「ささえる・つながる・リードする」ことのできる看護実践力の向上に取り組みたいです。そして、看護のチーム力を発揮し、地域の方から選んでいただける病院の体制作りに貢献してまいります。引き続き、看護部および看護職員へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



ケーブルTVで放送中

**イキイキさめき健康塾**  
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

詳しくはこちら



6月のテーマ 「やさしい 隣がん講座」

7月のテーマ 「元気はお口の健康から—ご存じですか？オーラルフレイル—」

8月のテーマ 「鼻から行う脳腫瘍手術（神経内視鏡手術）」 予定



## 全員の力で!

香川大学医学部 事務部長 横川 利子

このたび、総務担当の副病院長を拝命いたしました、医学部事務部長の横川利子です。

私は、香川医科大学へ入職し、香川医科大学、香川大学医学部一筋で総務、予算、契約、物流管理等の業務に携わってまいりました。物流管理では、診療材料の消費管理、在庫管理、ロット管理をシステムでどのように実践していくかを1年以上かけて担当しました。これまで、多くの教職員、病院で業務をされている職員と様々な課題に取り組んできました。引き続き、その「組織の一体感」を活かし、働き方改革、病院経営、人材育成、組織づくり、災害対策等に総務担当として病院長をサポートし、いろいろな課題に、全員で共通目的に立ち向かっていきたいと思えます。職員が安心、安全に働くことができるよう職場環境の醸成に努めたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



## 病院の環境改善を

香川大学医学部 事務部次長(総務課長併任) 渡邊 康一郎

この度、事務部次長(総務課長併任)を拝命しました渡邊と申します。過去には平成20年度から平成29年度までの10年間を医学部・病院で勤務していました。当時は病院再開発の真っただ中で、病棟や手術棟だけでなく、食堂・売店棟、立体駐車場、ヘリポート等の建設が着々と進んでいました。日々変貌していく病院を、まるでタイムラプスを見るように眺め、同時に、私が勤務する管理棟は、いつ新しくなるのだろうと羨ましく感じたのを覚えています。平成30年度からは法人本部へ異動となり、令和となってからは、大学全体のコロナ対応に追われていました。その頃は、まさか自分が再度医学部で勤務するとは思っておらず、医学部や病院では更に大変な状況になっているのだろうと、幸町から三木町を遠くに眺めていたところでした。

今回再び医学部・病院勤務となりますが、離れていたのはわずか4年間ではあるものの、外来・中診棟・南病棟の大きな変貌に戸惑いながら、院内の案内板を頼りに目的地を目指し、また、ご挨拶いただく方の職員証を確認しながら、4年以上前の記憶をたど

る毎日です。なお、残念ながら管理棟は新しくなってはいませんでした。

総務課は、50名を超える大所帯で、その業務についても、総務、人事、労務、広報、法規、国際交流、研究、センター関係と非常に幅広いため理解が追い付いておらず、辛うじて付いて行っているような状況です。特に病



院においては処理すべき案件が膨大で、懸案事項も多々ありますが、皆様のご協力を頂きながら、少しでも病院内の環境改善に貢献できればと考えております。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

## イベントカレンダー 2022年6~8月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
8/10(※)	10:00~11:00 13:00~14:00	サンメッセ香川	夏休みワクワク自由研究 —香川のハートをものっそももりたい!— ※小学4~6年生対象、親子で健診の大事さや生活習慣病・心疾患を学ぶイベント	研究協力室	(087)891-2011

## 令和4年度 新研修医をよろしくお願いたします!

香川大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター



今春、医科17名の新研修医を本院に迎えました。多職種スタッフのご協力の下、5日間のオリエンテーションでは、医療安全をはじめ、医療倫理、メンタルヘルス・医療保険制

度・働き方等に関する講義を受講し、また採血等の実習にも積極的に取り組んでいました。

臨床研修において、厚生労働省が到達目標としている医師としてのプロフェッショナリズムとは、社会的使命と公衆衛生への寄与、利他的な態度、人間性の尊重、自らを高める姿勢です。新研修医達は、これらの修得を目指し不安と緊張感を感じながらも、各病棟・診療科での研修をスタートしています。

現代の社会ニーズを踏まえ、地域社会に必要とされる医師育成に繋がることを使命として、引き続き努めてまいります。つきましては、皆様方には研修医育成へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和4年度新採用の看護職員52名です

香川大学医学部附属病院 看護部

約2週間のオリエンテーションプログラムを終え、各部署にそれぞれ配属となりました。緊張の毎日ですが、先輩看護師さんのご指導を受けながら日々頑張っています。看護師としての誇りと専門職としての自覚を持ち、信頼される看護

師を目指して、同期で支え合い成長していきたいと思えます。皆様、どうぞよろしくお願い致します。そして、成長していく私たちを温かく見守ってください。



## 福利厚生施設棟の建設

香川大学医学部 管理課

本院では、病院を利用される患者さんへのサービス向上や教職員の福利厚生の充実を図る観点から、病院玄関前に福利厚生施設棟を建設することになりました。

1階に薬局、患者さんの送迎待合室、バス待合室を、2階に会議室等を設けます。2階は、大規模災害等の際には、災害対策本部としても活用できる設計となっています。

また、福利厚生施設棟全体を大きな庇で覆うため、雨に濡れず、薬局や送迎待合室等に行くことが可能になります。早ければ、夏頃から工事が始まり、オープンは来春の予定です。

工事期間中は、皆様に多大なご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



完成イメージ図

編集委員会(50音順)

岡内(外来)、金西(副病院長)、亀田(病棟)、木内(検査)、小坂(薬剤)、圖子(管理)、筒井(経営企画)、仁尾(医療支援)、松賀(看護)、門田(放射線)、横井(医療情報)、和氣(医事)、渡邊(総務)〔委員長 門脇病院長〕

(2022年4月現在)